

議事要旨	
H29 年度 第 1 回千葉県移動性向上プロジェクト委員会	
開催日時：平成 29 年 7 月 28 日 10:00～11:30	
開催場所：千葉国道事務所 202 会議室	
委員会出席	千葉工業大学創造工学部 教授 千葉県警察本部 交通部交通総務課 課長補佐 千葉県警察本部 交通部交通規制課 交通管制センター長 一般社団法人千葉県商工会議所連合会 事務局長 一般社団法人千葉県トラック協会 常務理事 一般社団法人千葉県バス協会 専務理事 株式会社 千葉日報社 理事広告局長 公益社団法人 千葉県観光物産協会 専務理事 東日本高速道路株式会社 千葉管理事務所長 東日本高速道路株式会社 市原管理事務所長 東日本高速道路株式会社 千葉工事事務所長 千葉市 建設局 道路部 部長 千葉市 消防局 警防部 部長 千葉県 県土整備部 道路整備課 副課長 千葉県 県土整備部 道路計画課 副課長 国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所 副所長 国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 所長 赤羽 弘和（委員長） 松山 一好（代理出席） 高津 功（代理出席） 相村 一郎（欠席） 高安 茂 花崎 幸一 松本 祥彦 飯田 重行 川田 敏 鎌田 文幸 木曾 伸一 村川 安秀 深井 幸徳 荒木 健一（代理出席） 西山 昌克（代理出席） 飯塚 正芳（代理出席） 森 勝利（代理出席） 八尾 光洋
事務局	■移動性向上プロジェクト委員会資料（資料1） これまでの経緯（P1～2）、前回委員会での主な指摘事項とその対応（P3～5）、今回委員会の審議内容（P12～22）等について説明を行った。 ⇒主要渋滞箇所のうち、運輸支局入口交差点、道の駅多古交差点、（仮称）多古中入口交差点の3交差点をP2の除外ルール①に基づき、主要渋滞箇所から除外する事で了解を得た。
委員長	渋滞が軽減すると安全性も向上するため、その効果を伝えると事業に対する理解も深まる。安全性を視野に入れることが重要である。
委員長	P10～11 のピンポイント渋滞対策において、右折車線の上流端付近で右折車と直進車の速度相関を分析すると、右折車の直進車線はみ出しによる阻害の状況がより明確になる可能性がある。また勝田台団地入口交差点においては、信号サイクルを短くする事も一案として考えられる。
委員長	P13～19 の湾岸千葉地区改良の効果確認において、改良に合わせて交差点の信号サイクルを変更しているのか。
委員	国道 357 号側の青信号時間を減らして、その分を交差道路側に割り当てている。
委員長	交差道路側については、信号サイクルの見直しによって速度の改善が見られるものの、運輸支局入口交差点を除いて3指標をクリアできていない。しかし交差道路側の評価区間長が極端に短いと赤信号待ちによる速度低下が過大評価されてしまう事から、評価区間の設定方法を再確認した方が良い。
委員長	本委員会ではハード対策・ソフト対策の両面から技術的な検討ができており、委員会のフレームワークとして非常に有効である。

以上